

★ 科学館のおじさんへ★

ぼくの大好きな科学館に行った時のこと。

いつものように科学館でいろいろな体験をして、

帰る前にグッズ売り場で宇宙や星の本を見ていました。

すると、「宇宙は好きかい？」と係のおじさんが話かけてくださいました。ぼくは少しはずかしがったけれど、「はい。」と答えました。するとおじさんが星のさがし方や、星座早見の見方などを、次から次に話してくださいましたのです。

ぼくが今まで聞いた宇宙と星の話の中で、一番面白くて、時間がたつのをわすれて、おじさんの話にすいまれました。

中でも感動したのは、大ぐま座と北斗七星の話です。

北斗七星は大ぐま座のしっぽに見立てられるので、

「おおぐまのしっぽ」と覚えればよいよ、と教えて下さったのです。でも、「おおぐまのしっぽ」では、七文字でなく、八文字になり、一文字分、星が足りません。それをしつ問うと、

おじさんが、「しっぽ」の小さな「っ」にあたる星は「し」にあたる星のすぐとなりに、よりそっている小さな星だよ、と教えてくださりました。「なんて面白いんだろう」とぼくは思い、

「へえ…面白い…面白い」とおじさんの話を聞いている間、ずっとな心の声がかもれていました。

おじさんは星の話だけでなく、ロケットの名前の由来まで教えて下さいました。「なぜこんなに物知りなのだろう」と思ったら、「おじさんはずっとなロケットの仕事をしていたんだ。JAXAにいたんだよ」と教えてくれました。

ぼくは宇宙飛行士になるのがゆめですが、おじさんのように物知りでやさしくておもしろい方にあの日会えたことは神様からのおくりものような気がしています。

家に帰ってもおじさんのお話がどれもこれもあすれられずにいると、お母さんが、「今日はずっとな目がキラキラしているよ。おじさんにいろいろ教えていただきありがとうございます。」と言いました。本当にぼくも感しゃの気持ちでいっぱい

です。おじさん、ぼくにもっと宇宙や星が好きになるきっかけをくださり、ありがとうございます。

また会えたらうれしいです。

次会える時までにはぼくもたくさんへん強して、またたくさんお話できればうれしいです。

岡本篤典 より

★ 科学館のおじさん ★

ぼくの大好きな科学館へ行った時のこと。
 いつものように科学館でいろいろな体験をしての
 帰る前にグッズ売り場で宇宙や星の本を見ていました。
 すると「宇宙は好きかい？」と係のおじさんが話かけて
 くれた。最初は少しはずかしく感じられたけれど、「はい。」と答え
 ると、おじさんが星の星座や、星座早見の
 見方などを教えてくださったのです。
 宇宙と星の話の中で、一番面白くて、
 おじさんの話にすいれました。
 大ぐま座と北斗七星の話です。
 北斗七星はほぼに見えてくれるので、
 教えてよといわれれば「はいよ」と教えて下さったの
 が、「ほ」では、七文字ではなく、八文字
 なんです。それをしつ問すると、
 おじさん「北斗七星の小さな「つ」にあたる星は「し」
 にあたる星よりもよりそっている小さな星だよ、
 と教えてくれた。ほんと面白いだろう」とぼくは思い。



「へえ…面白ま面白い」とおじさんの話を聞いて
 いる間、心の声がかもれていました。

おじさんは星の話だけでなく、ロケットの名前の由来
 まで教えて下さいました。「なぜこんなに物知りなの
 だろう？」と思ったら、「おじさんはずっとロケットの仕事をして
 いたんだ。ここにいたんだよ」と教えてくれました。

ぼくは宇宙飛行士になりたいのがゆめで、おじさんの
 ように物知りでやさしくておじさんにいろいろ教えて
 下さるとは神様からのおくりものかなと思います。
 家に帰ってもおじさんのお話かきかきしついでに、お母さんが、「今日は
 よ。おじさんにいろいろ教えていただき、本当にありがとうございました。」
 と言いました。本当にぼくも感じました。
 ですよ。おじさん、ぼくにもっと宇
 きかけをくださり、ありがとう
 また会えたらうれしいです。
 次会える時までにはぼくも強
 ち強いて、またたくさんお話をできたいです。

